

「2023年3月期通期 決算説明会」主な質疑応答（要旨）

Q1 2023年3月期第4四半期は、宅配便の取扱数量が想定を下回った中で、
下払経費を中心に営業費用をコントロールできた要因を教えてください。

- EC物流ネットワークと既存ネットワークの全体で、需要変動（取扱数量の増減）に対応するオペレーションの仕組みが定着しつつあるなど、コストを適正化していく取組みが進展しました。
- 今期（2024年3月期）においても、お客様の動向等を踏まえた業務量予測に基づき、適切なオペレーションを行うことで、さらなるコストの適正化に努めていきます。

Q2 2024年3月期は宅配便（宅急便・宅急便コンパクト・EAZY）の平均単価が前期より+4.7%上昇する予想ですが、前提としている考え方を教えてください。

- 労働力人口の減少に伴う賃金・時給単価の上昇や、国際情勢・円安などによる原材料・エネルギー価格の上昇、物流業界における2024年問題への対応などを踏まえ、2023年4月3日より届出運賃を改定しました。
- また、個別契約を締結している法人のお客様に対しても、これまでのお取引の状況や契約内容等を踏まえ、順次交渉を進めています。
- このような中、2024年3月期の宅配便（宅急便・宅急便コンパクト・EAZY）単価予想については、物流業界を取り巻く外部環境の変化等を踏まえつつ、本改定を公表した2023年2月以降のお客様の反応や感触を見ながら設定したものです。
- 個別契約の更新時期はお客様ごとに異なるため、交渉の進捗状況および、契約更新のタイミングに応じて、平均単価は段階的に上昇していくと想定しています。

Q3 2023年5月10日に発表した自己株式取得の考え方を教えてください。

- 当社は、成長性（営業収益）と収益性（営業利益率）および、財務の健全性（キャッシュ創出状況、保有現預金、自己資本比率の水準）、投資の進捗状況、資本効率等を踏まえ、安定的な配当を基本（DOEを意識）とした、適時適切な資本政策により、株主価値向上を実現することを基本的な考え方としており、現中期経営計画においては、ROE10%以上、配当性向30%以上、総還元性向50%以上（2021年3月期～2024年3月期の累計）を目安としております。
- 今回の自己株式取得については、2024年3月期の業績予想、キャッシュフローの見通し、資本効率などを勘案し、総還元性向の目安（4年間累計）を踏まえて決定したものです。
- 本日の決算説明会でご説明した中長期戦略の方向性のもと、引き続き、持続的な成長の実現に必要な投資を実施していくとともに、資本効率を意識した経営を推進していきます。

（ご参考）自己株式の取得に係る事項の決定および自己株式の消却に関するお知らせ
https://www.yamato-hd.co.jp/news/2023/newsrelease_20230510_1.html

以 上